

報道関係者各位

ホスピタリティ業界の課題に対して業界をめざす学生が業界のリーダーへ提言
ホテル総支配人や業界の方など 32 名を審査員に迎え、第 33 回弁論大会を開催

専門学校日本ホテルスクール(東京都中野区 石塚勉校長)は、第 33 回弁論大会を 11 月 6 日(水)、なかの ZERO ホールで開催しました。ホテル総支配人、業界関係者観光業界を代表するメディア関係者の方などの 32 名のゲスト審査員、弁士のご家族 17 名、教職員 29 名、在校生約 350 名の聴衆を前に、総勢 21 名が参加した予選会を通過した日本語部門 5 名、英語部門 5 名、計 10 名の弁士が熱弁を振るいました。



日本語部門最優秀賞受賞
昼間部ホテル科 2 年花井友美さん
(長野県飯田風越高校出身)
「平等なおもてなし」



英語部門最優秀賞受賞
昼間部英語専攻科 2 年宮崎薫さん
(明治学院高校〔東京〕出身)
「HOTELS for ALL (ホテルはみんなのために)」

弁論大会は「表現力、語学力の向上」「同世代間の考え方・価値観の共有」などを目的として開始され、今回で 33 回目を迎えました。本大会は、学内レベルの大会としては類を見ない規模で、毎年、ホテル総支配人や業界企業トップの方などゲスト審査員を迎えて実施しています。本校は開校以来、「産学連携」を軸とし、ホテル・ブライダル企業を中心に企業と連携した実践教育を行っています。

2024 年 1 月から 9 月までの訪日外国人旅行者数は、約 2688 万人となり、2023 年の年間の訪日外国人旅行者数を超え、2019 年の年間旅行者数約 3188 万人を超える可能性も高く、観光需要が増加する中で、国内外の富裕層の取り込みを狙い、東京都内を中心にラグジュアリーホテルの開業が予定されています。一方で、帝国データバンクが実施した 2024 年 7 月の人手不足に対する企業の動向調査によると、「旅館・ホテル」は依然として高い割合で推移しています。新規ホテルの開業と人手不足が重なり、宿泊業界内での人材の獲得競争、人材を集めることに課題がある中で、今年の弁論大会は、「2030 年のホ

スピタリティ業界」「ホスピタリティ業界における自分のあり方」を論題としました。ホテル・ブライダル実習や日頃のアルバイトなどの体験を通して感じていることなどの体験談に留まらず、現在自身が行っていること、自身と社会との関わり、そして将来活躍の場であるホテルやブライダルの業界への提案から、自身の今後の目標や将来の夢など、予選会からさらに内容をまとめ、練習した成果を發揮し、堂々と伝えていました。



ホテル総支配人や業界企業のトップの方などがゲスト審査員と参加します

日本語部門最優秀賞は、昼間部ホテル科2年花井友美さん(長野県飯田風越高校出身)による、訪日外国人旅行者が増加する中での外国人への差別意識に注目し、その意識が増幅することで観光業の衰退の可能性を示し、ホテルスタッフとして国の宗教や文化などに関わる知識を身につけることでお客様に少しでも寄り添い温かいサービスが提供できることを伝えた「平等なおもてなし」、優秀賞は、昼間部ホテル科2年雲井はなさん(東京都立篠崎高校出身)による、出産後の仕事復帰が叶わないことも見受けられる環境下で、ホテル業界で長く働き続ける方法として育児休暇前に料飲部と宿泊部の両方のスキルを習得し、復帰後に業務範囲の広い部署で活躍ができるマルチセクション部の設立を提案した「私たちの未来予想図」が選ばれました。

英語部門最優秀賞は、昼間部英語専攻科2年宮崎薫さん(明治学院高校〔東京〕出身)による、ホテルはジェンダーマイノリティや障害を抱えたお客様などの少数派としてみなされる人々を含めてすべてのお客様に快適に迎えることができる必要性を示し、特別な対応を必要とする少数派という考えを改め、すべてのお客様の満足のためにユニバーサルデザインやおもてなしの精神があることを再確認することが必要であると提言した「HOTELS for ALL(ホテルはみんなのために)」、優秀賞には、昼間部ホテル科2年三田村優真さん(関東第一高校〔東京〕出身)による、カスタマーハラスメントが業界の人手不足やサービスの質の高さの維持の難しさに影響があり、お客様と従業員の関係が平等である必要性を示し、オーストラリアでの留学経験をもとに日本と海外を比較し、主人と召使いのように感じる関係性を改善するために提言した「Customers Are Gods?(お客様は神様?)」が選ばれました。

そして、日本語部門、英語部門よりそれぞれ3名が努力賞を受賞しました。

<日本語部門・努力賞>

▼「変幻自在の布」

昼間部英語専攻科 1年 河原友那さん(船橋市立船橋高校〔千葉〕出身)

▼「いただきますの心を大切に」

夜間部ホテル科 1年 久保愛美さん(東京都立千歳丘高校出身)

▼「人を活かしたホテルであり続けるために」

昼間部ホテル科 1年 高木翼さん(埼玉県立入間向陽高校出身)

<英語部門・努力賞>

▼「How Technology Enhances the Tourist Experience(テクノロジーで進化する新たな観光体験)」

昼間部英語専攻科 2年 桧原那於さん(横浜翠陵高校〔神奈川〕出身)

▼「Diversity of Fashion in Terms of Job-hunting(就職活動におけるファッションの多様性とその移り変わり)」

昼間部英語専攻科 2年 西府結哉さん(清林館高校〔愛知〕出身)

▼「When Staff Smile Like Guests(スタッフがゲストのように笑顔になる時)」

昼間部ホテル科 2年 木戸秋風羽さん(千葉県立市川東高校出身)

日本語部門最優秀賞受賞者には、ザ・ペニンシュラ東京代表取締役社長 総支配人マーク・チューン様より朝食付宿泊券、六本木ヒルズクラブ総支配人木頃由紀様よりディナーペア招待券、オークウッドプレミア東京様より朝食付宿泊券、英語部門最優秀賞受賞者には、東京エディション虎ノ門・東京エディション銀座統括総支配人アンシュル・カウール様より朝食付宿泊券、ハイアット セントリック 銀座 東京総支配人内山渡教様より宿泊券、ウェスティンホテル東京様よりディナーペア招待券が贈られました。また、両受賞者には、株式会社オータパブリケーションズ執行役員マネージングディレクター岩本大輝様より月刊ホテルレストラン定期購読1年分も贈られました。



受賞者に協賛いただきました企業の皆様よりホテル宿泊券やディナー招待券などが贈られました

そして、日本語部門優秀賞受賞者には、ザ・カハラ・ホテル&リゾート 横浜総支配人阿部泰年様より朝

食付宿泊券、アマン東京副総支配人-宿泊担当鈴木孝典様よりラウンジアフタヌーンティー招待券、キンプトン新宿東京総支配人マキシム・オトリエ様よりランチ招待券、英語部門優秀賞受賞者には、グランドハイアット 東京総支配人マイケルゴールデン様より宿泊券、キンプトン新宿東京総支配人マキシム・オトリエ 様よりアフタヌーンティー招待券、アンダーズ 東京様よりディナー招待券が贈られました。

なお、努力賞を受賞した 6 名の弁士、審査員特別賞や学生から選ばれる学生賞に選ばれた弁士にもランチ・ディナー券やホテル宿泊券などの副賞を企業の皆様より贈られました。協賛いただきました企業の皆様にこの場をお借りして御礼申し上げます。

審査結果発表、表彰式の後、ゲスト審査員としてご出席いただきました、ザ・ペニンシュラ東京代表取締役社長 総支配人マーク・チューン様より審査員を代表して弁論大会の総評と業界をめざす学生へのメッセージを伝えていただきました。



第 33 回弁論大会 10 名の弁士、業界を代表する審査員の皆様と教職員による集合記念撮影

専門学校日本ホテルスクールは 1972 年開校以来、14,000 名以上の卒業生を輩出してきました。ホテル・ブライダル分野における人材育成において、ホテル単科の専門学校としては、日本で最大級、日本を代表する教育機関の一つとして、完全就職や希望の進路実現に向け、蓄積したノウハウを注いで学生を支援しております。33 回目を迎えた弁論大会は、国際化の時代に向けて、これまでと同様、ホテルの総支配人や業界企業のトップの方々をゲスト審査員として迎え、産学連携のもとで行われた学校行事の一つです。

以上

別紙添付

- ゲスト審査員一覧 (PR24-05TheJapanHotelSchool_ゲスト審査員一覧.pdf)
- ご協賛企業様一覧 (PR24-05TheJapanHotelSchool_ご協賛企業様一覧.pdf)

■この件に関するお問い合わせ

学校法人日本ホテル学院 専門学校日本ホテルスクール
教育部 佐藤 山本 広報部 北條
TEL: 03-3362-5001 FAX: 03-3360-6177
URL: <https://www.jhs.ac.jp>